

経営比較分析表（令和4年度決算）

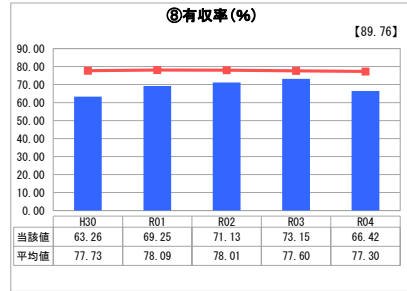
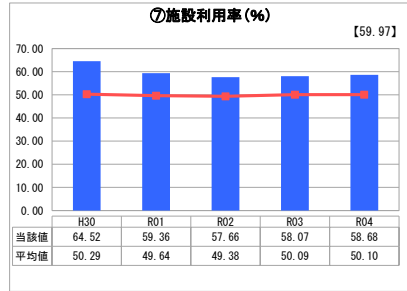
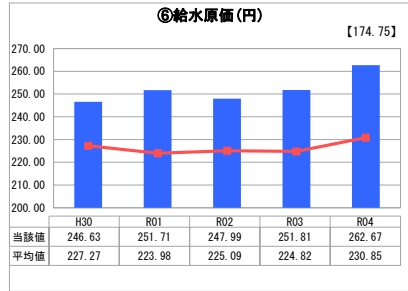
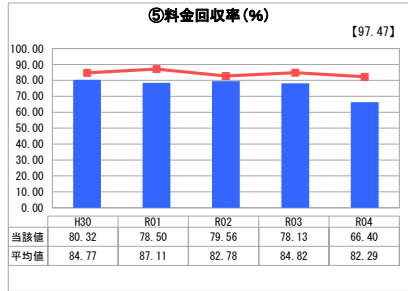
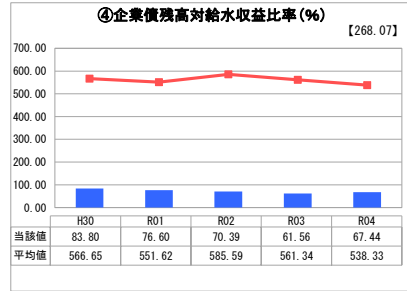
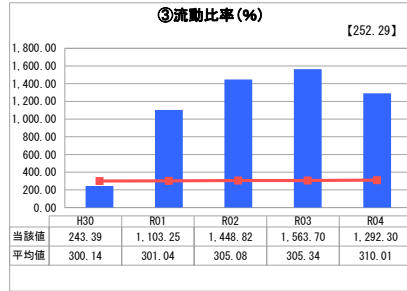
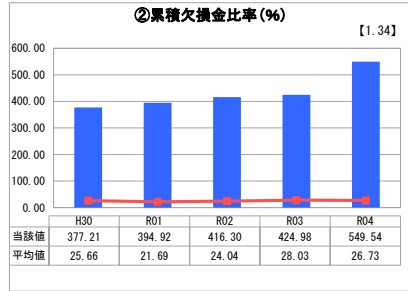
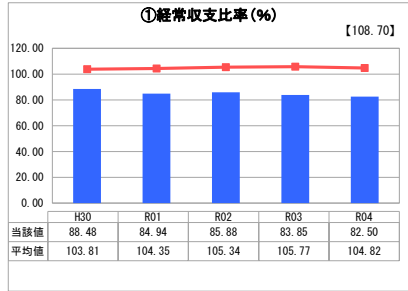
北海道 湧別町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	94.51	88.48	4,180	

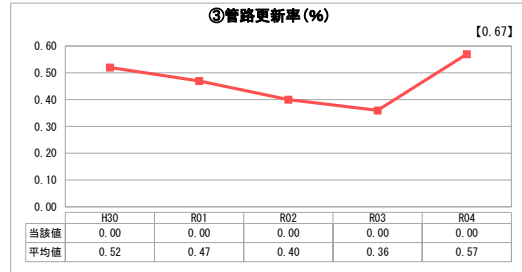
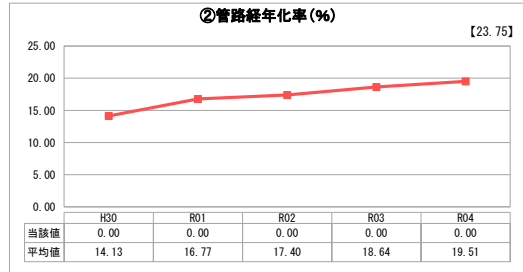
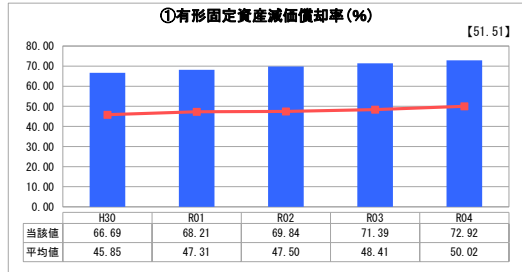
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,096	505.79	16.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,136	174.04	41.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率が毎年赤字の状況が続いており、累積欠損金に關しても増加し続けている状況となっております。

令和4年度に關しましては物価高騰による経費の増加によって例年と比べ累積欠損金比率と給水原価が増加していると考えられます。

また町民に対する生活支援のため、水道基本料金を4か月間にわたり減額したことにより料金収入が減収し、料金回収率も例年と比べ減少している状況となります。

対策として、本町は今後人口減少が見込まれていることから現状での増収は困難であるため、料金値上げの検討も必要と考えられます。また滞納者への通知や、訪問により回収することで現時点の回収できる財源の確保をまいります。

企業債残高については、平均を下回っていますが、今後大規模な更新による経費の増大が見込まれているため、経営の健全化・効率化が求められています。

2. 老朽化の状況について

本町の主要な浄水場である東山浄水場は、昭和59年建設から30年以上が経過し、全面的な更新の時期を迎えており今後更新に着手すると莫大な経費が掛かると見込みとなっています。

管路については、経年化率は平均を下回っているものの有収率は6.42%と低い状況が続いており老朽化した管路の更新も必要な状況です。

全体総括

本町の水道事業は、累積欠損金は年々増加しており、水道事業の経営は良い状況とは言えず、大規模な浄水場の更新も先延ばしにしている状況でこれ以上経営の健全化・効率化に取り組んでいかななくてはなりません。また、有収率も依然として低い水準のため漏水修繕等を行い有収率の向上を図っているとす。

今後、より一層の経営改善を図る観点から各種計画の策定、水道料金の改定、近隣市町との連携を図るなど抜本的な対策について検討を継続していく必要があります。